

教科名	地理歴史	科目	日本史B	単位数(予定授業時間)	4(156)
使用教科書	山川出版社「詳説日本史」		授業形態・学年	選択授業・中等5年	
科目の目標	日本史Bのうち近現代を、世界、なかでも特にアジアとの関係を背景に理解し、歴史学を学ぶ意義を確認すると共に、大学受験に向け、学力充実を図る。				
授業内容と主な教材	一学期	幕末期から明治期の政治・経済分野を採り上げ、学習する。 欧米のアジア進出と早期開国の可能性 開国と幕末の動乱 明治維新と富国強兵 国家体制の近代化 立憲国家の成立と日清戦争 日露戦争と国際関係		教科書 山川出版社「詳説日本史」 図説 山川出版社「詳説日本史図録」 授業用プリント	
	二学期	明治期の経済・文化分野、及び大正・昭和戦前期の政治・経済分野を採り上げ、学習する。 近代産業の発展 近代文化の発展 第一次世界大戦と日本 ワシントン体制 恐慌の時代 軍部の台頭 第二次世界大戦		教科書 山川出版社「詳説日本史」 図説 山川出版社「詳説日本史図録」 授業用プリント	
	三学期	昭和戦後期の政治・経済分野を採り上げ、学習する。 占領と改革 冷戦の開始と講和 55年体制 経済復興から高度成長へ 経済大国への道 冷戦終結と日本社会の動揺		教科書 山川出版社「詳説日本史」 図説 山川出版社「詳説日本史図録」 授業用プリント	
評価のポイント	単なる歴史用語の習得にとどまらず、国立大学二次試験の論述問題で求められる歴史事象に対する一貫性のある理解、すなわち時代背景・経過・次代への影響を含めた総合的な理解が為し得たかをも、評価の関点としていく。				

平成22年度授業計画

東京都立小石川中等教育学校

教科	地理歴史	科目名	世界史B	単位数(予定授業時間)	2(78)
使用教科書	詳説世界史B(山川出版)		授業形態 ・学年	選択・5学年	
科目の目標	世界の歴史についての関心を高め、世界を見る目、世界について考える力をつける。また、世界の歴史を理解するための基礎的な知識をしっかりと身に付けさせる。同時に現代の世界のことも考えさせる。				
授業 内容 と 主 な 教 材	一学期	第9章 近代ヨーロッパの成立 1, ヨーロッパ世界の拡大 2, ルネサンス 3, 宗教改革 4, 主権国家体制の形成 第10章 ヨーロッパ主権国家体制 1, 重商主義と啓蒙専制主義 2, ヨーロッパ諸国の海外進出 3, 17～18世紀のヨーロッパ文化	教科書 詳説 世界史B(山川出版) 資料集『世界史のミュージアム』(と うほう) 自主作成プリントなどを適宜使用する		
	二学期	第11章 欧米における近代社会の成長 1, 産業革命 2, アメリカ独立革命 3, フランス革命とナポレオン 第12章 欧米における近代国民国家 1, ウィーン体制 2, ヨーロッパの再編	教科書 詳説 世界史B(山川出版) 資料集『世界史のミュージアム』(と うほう) 自主作成プリントなどを適宜使用する		
	三学期	第13章 アジア諸地域の動揺 1, オスマン帝国支配の動揺とアラブ 2, 南アジア・東南アジアの植民地化 3, 東アジアの激動	教科書 詳説 世界史B(山川出版) 資料集『世界史のミュージアム』(と うほう) 自主作成プリントなどを適宜使用する		
評価のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が世界の歴史に関して興味・関心をどこまでもったかを課題等で評価する。 ・世界の歴史の資料をもとに歴史の本質を考察できたかを考査を通して評価する。 ・態度の変容を授業への参加度や復習プリント等で評価する。 ・世界の歴史に関する知識や理解がどこまで深まったかを考査を通して評価する。 				

平成22年度授業計画

東京都立小石川中等教育学校

教科	地理歴史	科目名	地理A	単位数(予定授業時間)	2(78)
使用教科書	高等学校改訂版地理A(第一学習社) 新詳高等地図帳初訂版(帝国書院)		授業形態 ・学年	選択・5学年	
科目の目標	系統地理的手法の学習を通して、現代世界の諸課題をグローバルな視点からにとらえると共に地域的特色を考察する。地誌的手法の学習を通して、現代世界の地域的な特徴・諸課題を考察する。地理的な見方や考え方、地理的技能を身につける。				
授業内容 と 主 な 教 材	一学期	地理学習に必要不可欠な地図の基本的知識の習得する。 地図化することによって明らかになる現代世界の諸問題に気づく。 地形図学習を通して、市町村規模の地域の地誌的学習を行う。世界の地形について学習する。 地形と人々の生活との関わりを学習する。 地形的に特徴のある地域について学習する。世界の気候について学習する。 世界各地の生活・文化について学習する。		教科書・地図帳 自主作成プリント 実物教材 これらを適宜使用する。	
	二学期	自然環境学習をもとに環境問題について学習する。交通・通信の発達を通して、世界が一体化していることを学習する。 時差について学習する。世界の人口問題について学習する。 居住の問題と関連して、都市。村落問題へと発展させて学習する。 人口、都市・村落問題的に特徴のある世界の地域について学習する。		教科書・地図帳 自主作成プリント 実物教材 これらを適宜使用する。	
	三学期	世界の産業の状況について学習する。主に農業、鉱工業を取り上げて学習する。 エネルギー・資源問題についての理解深める。		教科書・地図帳 自主作成プリント 実物教材 これらを適宜使用する。	
評価のポイント	地理に対して関心を持ち、意欲的な態度で学習したか…授業時間中の観察、小テスト、提出物で確認する 地理的な見方・考え方が身についたか…定期考査、発問に対する反応で確認する 地理の基礎的な技能や表現が身についたか…定期考査、提出物で確認する 地理の基礎的な知識が身についたか…定期考査、小テストで確認する				

平成22年度授業計画

東京都立小石川中等教育学校

教科	公民	科目名	倫理	単位数 (予定授業時間)	2 (78)
使用教科書	高校倫理 (実教出版)		授業形態 ・学年	必修・第5学年	
科目の目標	先哲の諸思想についての理解を深めながら、文明化・国際化している現代社会を自主的に生きていく態度を育み、主体的・批判的に思考する能力を身につける。				
授業 内容 と 主 な 教 材	一学期	①青年期の課題 ②源流思想 (1) ギリシア哲学 (2) キリスト教 (3) イスラーム (4) 仏教 (日本の思想については、折に触れ、適宜取り上げていく)		教科書・自主作成プリントなどを適宜使用する。	
	二学期	②源流思想 (5) 中国思想 ③近代西洋思想 (1) ルネサンスと宗教改革 (2) 科学的方法の探究 (3) 合理論と経験論 (4) 啓蒙思想 (5) ドイツ理想主義 (6) 功利主義 (日本の思想については、折に触れ、適宜取り上げていく)		教科書・自主作成プリントなどを適宜使用する。	
	三学期	④現代思想 (1) 現代的状況の特質 (2) 社会主義 (3) 実存主義 (4) プラグマティズム (5) 分析哲学 (6) 構造主義 (7) フランクフルト学派 (8) 科学技術文明の功罪 (日本の思想については、折に触れ、適宜取り上げていく)		教科書・自主作成プリントなどを適宜使用する。	
評価のポイント	・生徒が哲学、思想、宗教に関して興味・関心をどこまでもったかを授業での原典の輪読やディスカッションなどを通して評価する。 ・哲学、思想、宗教に関する理解がどこまで深まったかを考査を通して評価する。				